



常設展「岡本太郎とにらめっこ」

2023 年 2 月 1 日(水)～4 月 16 日(日)



岡本太郎《にらめっこ》1980 年

岡本太郎の作品には、初期から晩年までを通して、多くの人間や生き物が登場します。1960 年代後半からは特に、作品の中に「顔」のモチーフが増えていきました。岡本は「わが世界美術史」(1970) 連載執筆のために東西の様々な地を訪れ、現地の人々の生活や文化を取材しました。後年の著書『美の世界旅行』(1982) では、「世界の美のあらゆる層に何と様々な顔があり、また眼があるのだろう。(…) 一つの顔の宇宙の中に、また無限の顔、そして目玉が光っている。言いようのない実感をもって」と語っています。彼にとって世界の様相は、無限な「顔」がひしめき合い、成されたものと言えるでしょう。

さらに岡本は、それを実証するかのように、身の回りの物、椅子やグラス、スピーカーにも眼、鼻、口を表し、あらゆる物に「生命」を与えました。本展では「世界」を様々な表情に溢れたものとして捉えた岡本太郎が描いた沢山の顔たちを紹介します。

開催概要

会場：川崎市岡本太郎美術館 常設展示室

会期：2023 年 2 月 1 日(水)～4 月 16 日(日)

主催：川崎市岡本太郎美術館

開館時間：9:30～17:00 (入館は 16:30 まで)

休館日：月曜日、2 月 24 日(金)、3 月 22 日(水)

観覧料：2 月 1 日(水)～2 月 17 日(金) 常設展のみ開催

一般 500 (400) 円、高・大学生・65 歳以上 300 (240) 円、中学生以下は無料

2 月 18 日(土)～4 月 16 日(日) 企画展とのセット料金

一般 700 (560) 円、高・大学生・65 歳以上 500 (400) 円、中学生以下は無料

※ () 内は 20 名以上の団体料金

※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります。

※企画展「第 26 回岡本太郎現代芸術賞 (TARO 賞)」 会期：2 月 18 日(土)～4 月 16 日(日)

※開催期間等、変更になる場合がございます。最新の情報は当館ホームページにてお知らせいたします。

お問い合わせ

川崎市岡本太郎美術館 展覧会担当：出口、片岡 広報担当：森近 (pr@taromuseum.jp)

〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区柁形 7-1-5 生田緑地内

TEL : 044-900-9898 / FAX : 044-900-9966

<https://www.taromuseum.jp>



みどころ

●《月の顔》が多摩区役所から里帰り！

多摩区役所 1 階エントランスに長らく設置されていた《月の顔》が、同区役所外壁改修工事のため、当館に「里帰り」し、洗浄と修復を行い展示します。

●仮面(マスク)を多数展示！

本展 3 章は、「マスカレード（仮面舞踏会）」をイメージして、絵画や彫刻、レリーフなど岡本太郎が制作した顔や、仮面の作品を多数展示します。

●魅力的な関連イベントを開催！

日本工業大学が VR で再現した 1970 年当時の《太陽の塔》を体験するイベント「蘇る VR 太陽の塔 Ver. 5」。子ども当事者研究ネットワーク ゆるふわ と一緒に、岡本太郎美術館で行う対話型ワークショップ「創ってみよう！わたしの“こころの街”！ — こども当事者研究×岡本太郎美術館」を開催します。

●本展は、写真撮影可能です。

（動画撮影、フラッシュ撮影、三脚・自撮り棒・ジンバル等の器材の使用は不可）



《月の顔》1981 年



《二つの顔》1957 年



《若い太陽の顔》1969 年

主な出品作品(予定)

- ・油彩 《二つの顔》(1957)、《海辺の肖像》(1973)、《にらめっこ》(1980)、《マスク》(1985)
- ・彫刻 《若い太陽の顔》(1969)、《千手》(1975)、《月の顔》(1981)
- ・レリーフ 《マスク》(1970) (各種)
- ・プロダクト 《坐ることを拒否する椅子》(1963)、《顔のスピーカー》(1971)、《夢の鳥》(1977)

章構成(予定)

- I. 顔、にらめっこ！
- II. 目、目、目！！
- III. マスカレード（仮面舞踏会）！！！！



《マスク》1970 年



《夢の鳥》1977 年



《顔のスピーカー》1971 年



関連イベント

「蘇る VR 太陽の塔 Ver. 5」

大阪万博で岡本太郎が担当した《太陽の塔》は、彼の代表作品として知られ、現在でも多くの人びとに親しまれています。今回のイベントは、日本工業大学の学生が製作、再現した 1970 年当時の《太陽の塔》内部を VR で見学するものです。蘇った《太陽の塔》を体感してみませんか。



日 程：2023 年 3 月 4 日（土）・3 月 5 日（日）

★3/4、5 は、ゴーグルを装着して VR 体験ができます！

★常設展会期中（2/1～4/16）は、常設展示室で VR 映像の上映を行います。

場 所：ガイダンスホール（VR 体験）、常設展示室（映像上映）

協 力：日本工業大学 情報メディア工学科

※イベントの詳細につきましては、当館ホームページでお知らせいたします。

川崎市岡本太郎美術館ホームページ <https://www.taromuseum.jp>

ワークショップ

「創ってみよう！わたしの“こころの街”！ — こども当事者研究 × 岡本太郎美術館」

子どものこころには、他の人には伝えていない空想の世界「こころの街」があります。このイベントは、そんな「こころの街」の光景を、模造紙や紙コップ、スポンジなど、身近なモノを使って表現し、対話するワークショップです。



※好評につき満席となりました。

日 程：2023 年 3 月 12 日（日）13：30～（2 時間程度）

講 師：富田誠（東海大学教養学部芸術学科准教授）

向谷地宜明、江連麻紀（子ども・子育て当事者研究ネットワーク ゆるふわ）

定 員：9 組

対 象：小・中学生（保護者同伴）

場 所：創作アトリエ

料 金：無料（保護者のみ要観覧料）

申 込：電話受付（2/14（火）10：00 から受付開始）、先着順

※イベントの詳細につきましては、当館ホームページでお知らせいたします。

川崎市岡本太郎美術館ホームページ <https://www.taromuseum.jp>

※イベントの開催内容が変更となる場合がございます。

詳細は当館ホームページで随時お知らせいたします。

お問い合わせ

川崎市岡本太郎美術館 展覧会担当：出口、片岡 広報担当：森近（pr@taromuseum.jp）

〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区枳形 7-1-5 生田緑地内

TEL：044-900-9898 / FAX：044-900-9966 <https://www.taromuseum.jp>

